

白内障

と言われたんだけど・・・

〇
〇
〇
〇

「白内障」は眼科で一番よく聞く病名だと思います。

白内障は加齢によってほぼ全員がなるもので、病気よりも生理現象といったニュアンスが近いかもしれません。ですが、それは眼科医の常識です。患者さんの常識は違います。

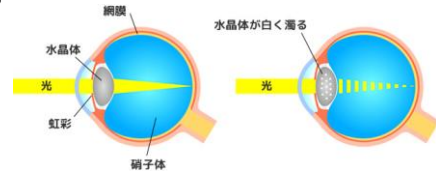
見辛さを覚えて、メガネ屋に行ったはいいが、メガネでは見辛さは解消されず眼科を勧められ、眼科に来たら白内障と告げられた・・・という経験をお持ちの方も多いと思います。

「まさか自分が・・・」
「この先どうなるんだろう・・・」
「眼の手術なんて怖すぎる・・・」

こう思われる方も多いと思います。

眼科の私達が思っている以上に不安がられる患者さんもいらっしゃいますし、口に出さないだけで、心の中では不安で押しつぶされそうになっている患者さんもいらっしゃると思います。

「脱医療者目線」を掲げる私達は、安易な医療者の思い込みを捨て、不安を抱える患者さんの心に寄り添い、不安を共有し、よりよい未来を歩めるよう、日々患者さんと向き合いたいと思っています。



■白内障は改善できる病気です。

眼科では完治が難しい病気も多いのですが、白内障は手術によって見え方を改善させることができます（他の病気を併発している場合は手術後の見え方は、その病気の状態によります）。白内障の治療は、今の医療では手術一択になってしまうので、現状では手術を受けるかどうかを選択することが白内障の治療のほぼ全てです。

■その手術が怖いんだよ・・・。

いとう眼科では火・水・木と白内障手術をしますし、毎日手術後の患者さんが通って下さいます。沢山の白内障手術を受けた患者様と接していますが、多くの方が手術を決める時は少なからず不安はありますし、たとえ不安がほとんどない方でも、手術前は緊張される方も多くいらっしゃいます。いとう眼科の特徴は、そういう患者様にスタッフがとことん向き合い、いつも側にいて安心していただけるよう【全スタッフが】心掛けています。そもそも病院は怖いものですし、その中でも手術は最も怖いものだと思います。その手術を勇気をもって受ける決断をした患者さんに少しでも安心していただけるよう、私達も頑張りたいと思っています。

■手術の決断がつかないんだよ・・・。

命の危険が迫っている病気や、眼科でも網膜剥離のように一刻を争う病気の場合は、患者さんからのよほどの反対がない限り、急いで手術をしたいと思います。白内障はそうではありません。手術に関しては、基本的な説明をして、手術を受ける受けないはご本人に決めていただくのが一般的です。ただ、判断を委ねられても、手術の決断が難しいのも事実だと思います。やったほうがいいのかどうか、いつでもいいとなると、今すぐ決断できないし・・・。そもそも、やっても絶対によく見えるという確証はもらえないし、手術をやる以上リスクもある。今現在それほど不自由してるわけでもないし、生活もできてるし・・・。眼の手術って怖すぎる。全身麻酔じゃないから、意識あるし、手術中は声も聞こえるし、見えてるだろ・・・。その後の通院も割と頻繁にあるみたいだし、予定もあるしな・・・と、考えれば考えるほど、手術は決断できないものです。いっそのこと、先生に決めてほしい!と思っても、なかなか先生からは言ってくれないし・・・。なんて、白内障手術って病院が決めてくれないんだよ・・・と不満を持たれる方も中にはいらっしゃると思います。

■いとう眼科の手術に対するスタンスは

いとう眼科でも、手術を受ける受けないの最終判断は患者さんに委ねております。ただ、決めるのは患者様でも、基本的に手術は早くやったほうがいいのかという思いで私達はいます。正直、あまり白内障が進行していない方ですと、手術をしても手術後の見え方が変わらないという方も中にはいらっしゃいます。ですが、手術をしなければ白内障は進行しますし、手術をすれば進行はしません。いとう眼科では1万件以上の白内障手術をやっておりますが、実体験として私達は非常に多くの患者さんの喜びを見ております。不安や恐怖で一歩が踏み出せない患者さんにも、喜んでいただきたいと思っているので、最終判断は患者様でも、私達は白内障の所見がある方に関しては早めの手術をお勧めしております。また、ご高齢になると、手術自体も難しくなるし、手術後の通院やケア（点眼等）も大変になります。できれば、身体が元気なうちに手術をするのが望ましいです。

■もう年だし、不自由していないし、手術はいいよ・・・

そういう方も多くいらっしゃいます。怖い思いをしてまで手術は受けたくないと思う方がいても当然だと思います。ただ、不自由をしてないと言っても、手術をしたら劇的に良く見えるようになったという患者さんも沢山いらっしゃるのも事実です。一般的に白内障は徐々に進行していくので、見辛さに目が慣れてしまっただけで、例えば視力検査をすると視力が0.5（通常は1.2～1.5）に下がってしまっているのに、不自由を感じないと言われる方もいらっしゃいます。

■でも、リスクもあるんだろ？

白内障に限らずですが、医療機関は手術の説明をする時は必ずリスクの説明をします。医療者の内心ではほぼ大丈夫だと思っている手術だったとしても、申し訳ないのですが、医療者の立場から「大丈夫です」とは言い辛いのです。万が一の事態が言葉の通り1万件に1件しか起きなくても、可能性がある事はお伝えするのが、医療機関としての責任だからです。ですが、それを聞くと患者さんとしては、怖さを感じます。1万人に一人の可能性だとしても、自分がその一人にならないとも限らないと思ってしまうからです。白内障の説明では、沢山リスクの話をして、患者さんに不安を与えてしましますが、仕方ない事とは言え、私達も心苦しく思っております。

■手術するとしたら極力リスクを減らしたいのだからどうすればいいのだろう？

リスクを減らすために患者さんが出来る事で一番大切なことは【いい病院を選ぶ】という事です。白内障の手術でやる事はどこの病院でもほぼ同じですが、病院によって白内障手術に対する意識や取り組み、医師の技術も知識も経験値も全く違います。白内障の器械は非常に高額ですが、使っている器械も様々です。意識が高く、知識も経験も豊富で技術力も高い医師や医療スタッフがいて、より質の高い器械を揃えて手術に臨んでいる病院に手術をお願いすることが、一番のリスク軽減となります。ただ、残念なことに、患者さんの立場としてどこが白内障に強い病院なのかを知ることは難しいです。「〇〇眼科で手術してもらったら良く見えるようになった」という話をお知り合いから聞く事もあるかもしれませんが、それは、医師の腕の良し悪しとはあまり関係ありません。ホームページで白内障の事を沢山書いてあっても、そこが白内障に強い医院かどうか判断は難しいです。器械に関しては、患者さんからは殆どわからないはずですが、手術実績は明確な指標ですが、実績を公開している医院は少ないです。そうすると、正直お手上げです。どの病院がいい病院か調べる術が患者さんには殆どありません。私達は自分たちの事しか書けませんが、いとう眼科は白内障に非常に力を入れております。器械は必要に応じて常に最新のものに入れ替えております。いとう眼科スタッフもスタッフの家族も白内障手術を経験している人は沢山いますが、いとう眼科で手術を受けています。あるスタッフは実家が岐阜ですが、親が白内障手術するなら、群馬に来ていとう眼科で受けてもらいたいと言っています。

■病院選びの最終判断はどうしたらいいの

白内障に強い病院の条件は先ほど書いた通りいくつかありますが、それが分からないとなると、最終的に判断するのは、その医院が【誠実】かどうかで決めるしかないと思います。「近いから」とか「空いているから」とか「周りの評判がいいから」で決めるのではなく、実際にご自身で受診され、その時受けた感覚で決めていただくのが一番かと思います。わからない事はとにかく全部聞いてみてください。それにキチンと答えてくれるかどうかは大切なポイントです。更に言うと、聞く前に知りたいことを伝えてくれる病院であつたら、なおいいと思います。いい病院かどうかは心で感じるものなのかなと思っています。